

金沢市立小立野小学校	小学校教科推進校	教科（国語）
------------	----------	--------

1 研究の重点と具体的な取組

重点1 付けたい力を明確にした主体的学び

- ・付けてきた力と付けたい力を明確化した単元構想。
- ・単元を通して主体的な学びが実現するような単元構成の工夫。
- ・共通教材の位置づけや読む必要感を持たせる工夫。



※学習計画表（2年）



※学習計画表（5年）

重点2 対話的交流による深い学び

- ・学年に応じた反応の仕方や視点、交流の形態の段階的・計画的指導。
- ・教師の見取りの観点の方向性の明確化。
- ・ふり返りに、一時間の変容が表れるような観点の提示や可視化の手立て。

・「どこにつまずいているか」	・つまずき
・「支援中にどんな言葉で問い返すか」	・問い返し
・「グループ同士の話し合いにどんなつながりがあるか」	・関連性
・「全体交流で広めたいノートの書き方・交流の仕方」	・よい姿の価値付け
・「個人の読みのこだわりはどこか」	・思考の方向性・分類
・「どの言葉や叙述に着目しているか」	・思考の方向性・分類
・「読みの共通点や相違点」	・共通点・相違点
・「全体に投げかけたい内容は何か」	・深めの発問
・「付けたい力・本時のねらいに迫っているか」	・付けたい力・本時のねらい

※教師の見取りの観点

重点3 付けたい力の明確化・系統化

- ・各学年の『付けたい力系統表』の活用や、系統性を意識した単元構成の工夫。

2 取組の検証

※数値は肯定的評価

重点	検証方法	内容	1回目	2回目	変化
重点1	児童アンケート	学習への主体性に関する内容	89.3%	91%	↑
重点1	児童の成果物	付けたい力がついたかどうか	87.1%	96.5%	↑
重点2	児童アンケート	交流と自分の考えの深まりに関する内容	92.9%	95.9%	↑
重点2	児童アンケート	ふり返りに関する内容	95.7%	95.3%	↓
重点2	児童のふり返り	観点に沿ったふり返りが書かれているか	83.4%	93.3%	↑
重点2	教員アンケート	見取りの観点の明確化に関する内容		71.3%	

3 成果と課題

- 『付けたい力系統表』を活用して、付けてきた力と付けたい力を明確にし、付けたい力に迫るためにふさわしい単元構成、言語活動、交流の在り方を吟味できた。
- 対話的交流を目指し、段階的・計画的に指導することで、交流に対話が生まれ、深い学びに近づくことができた。
- 教師の見取りの観点を明確化し、教師の見取りの意識が向上した。
- ▲付けたい力に迫るための単元構成のバリエーションのさらなる拡充
- ▲共通教材の位置づけの吟味
- ▲より主体的な学びに迫るための教師の手立てや成果物のモデルの吟味
- ▲教師の見取りを深い学びの実現にどう生かすか